

Mobility Management in Arao City

公共交通で出かけたくなる 移動目的と移動手段の連動

～健康づくりや商業施設と連携した
モビリティ・マネジメント～

荒尾市 総合政策課
林田 真司

令和7年度 地域公共交通活性化シンポジウム
令和8年2月13日

Contents

1. 荒尾市の地域公共交通の状況

2. モビリティ・マネジメントの取り組み内容

3. 今後の展望



01

荒尾市の地域公共交通の状況



公共交通の中心的な役割を担う、産交バス

荒尾市の概要

- 福岡都市圏・熊本都市圏の中間にあって、JR・高速道路・フェリーなど『**交通アクセスに恵まれたまち**』
- 小岱山や有明海があり、買い物・病院など適度な都市機能が整った『**自然と都市のバランスがとれたまち**』
- 西日本有数の遊園地、世界遺産の万田坑、ラムサール条約登録の荒尾干潟など『**豊富な観光資源のあるまち**』
- コンパクトながら、様々なライフスタイルを実現できる『**自然災害の少ない、暮らしやすいまち**』



ユネスコ世界文化遺産
『万田坑』



ラムサール条約登録湿地
『荒尾干潟』



アトラクション数日本一
『グリーンランド』

住民基本台帳人口(令和7年12月末時点)

人口:48,483人 世帯:24,023世帯 高齢化率:37.05%

合計特殊出生率:1.25(令和6年)

主な公共交通政策の経緯

昭和22年度

- 市営バス営業開始

平成17年度

- 市営バス事業廃止 ⇒ 現 産交バス(株)に全システムを移譲
民営化後も、利用者は減少傾向

平成25年度

- 「荒尾市地域公共交通総合連携計画」策定
 - ・荒尾市地域公共交通活性化協議会を設立し、最適で持続可能な公共交通のあり方を議論
 - ・平井・府本地区の路線バスを廃止し、予約型乗合タクシー（区域運行）を導入



地域公共交通活性化協議会

平成29年度

- 「荒尾市地域公共交通網形成計画」策定
 - ・平井・府本地区の乗合タクシーの乗入れ施設・夏季運行時間拡大
 - ・**健康づくり活動等に合わせたモビリティ・マネジメントの実施**
⇒令和3年度にはJCOMMプロジェクト賞を受賞

令和2年度

- AIオンデマンドタクシー「おもやいタクシー」導入
 - ・路線バスと一般タクシーの中間的な交通モードとして**市内全域で運行開始**
 - ・観光×交通アプリ「おでかけあらお」リリース

令和4年度

- 「荒尾市地域公共交通計画」策定
 - ・健康づくり関係を継続しつつ、**商業施設と連携したモビリティ・マネジメントの実施**

令和6年度

- 「荒尾市地域公共交通利便増進実施計画」策定
 - ・新しいまちづくりの動き（医療センター、競馬場跡地活用）と連携したバス路線再編の実施

公共交通網の概要

【路線バス】

○産交バス

市内線6系統、広域線1系統

○西鉄バス

広域線4系統

【乗合タクシー】

○平井・府本地区で区域運行

特定乗降箇所は、ゆめタウンシティモール、有明医療センター等

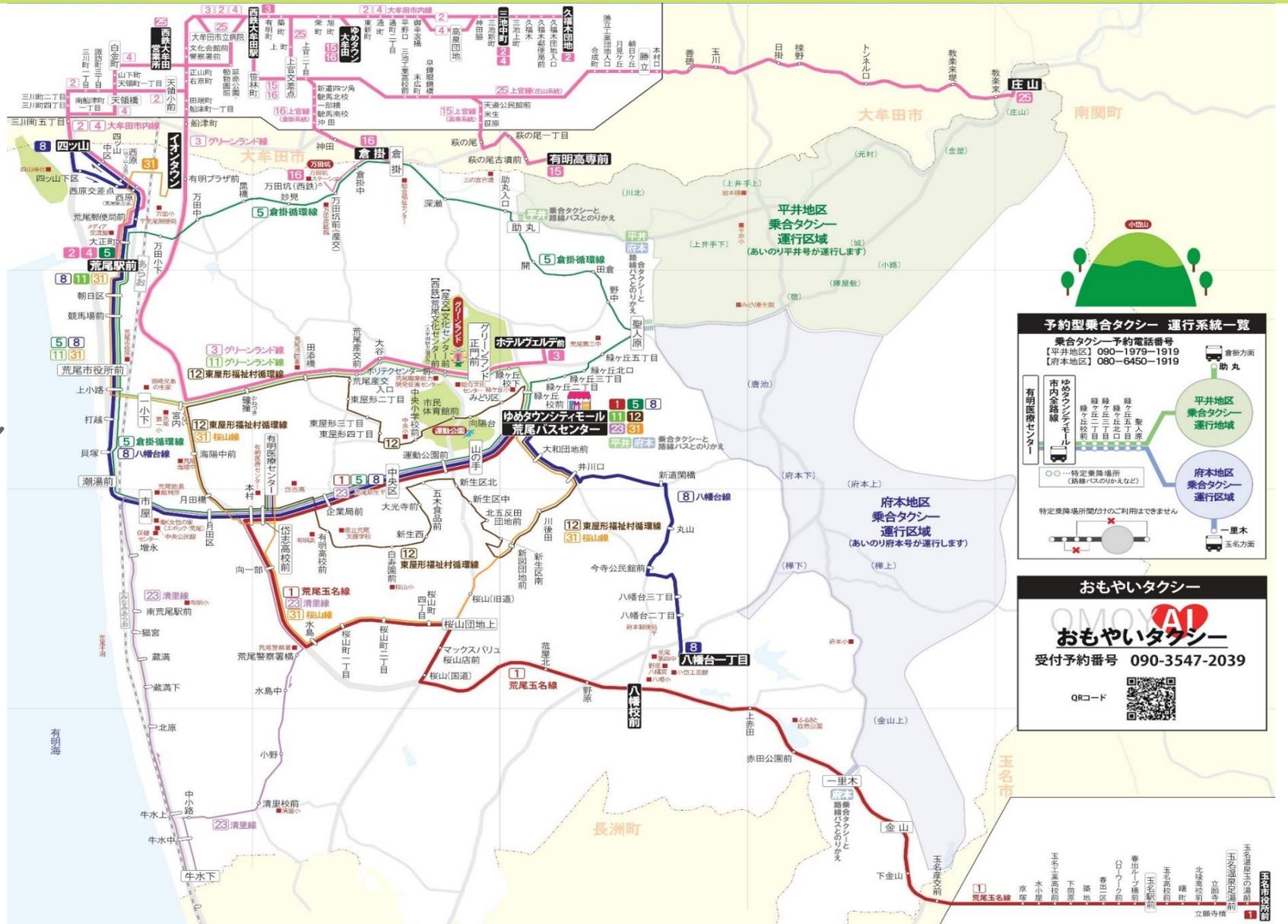
【おもやいたクシー】

○市内全域を常時2台で運行

【鉄道】

OJR荒尾駅、JR南荒尾駅

市域面積 57.37km²



予約型乗合タクシー 運行系統一覧

乗合タクシー予約電話番号
 【平井地区】090-1979-1919
 【府本地区】080-6450-1919

○●…特定乗降箇所 (路線バスのりかえなど)
 ○…特定乗降箇所 (路線バスのりかえなど)
 ×…特定乗降箇所がご利用できません

平井地区乗合タクシー運行区域
 府本地区乗合タクシー運行区域

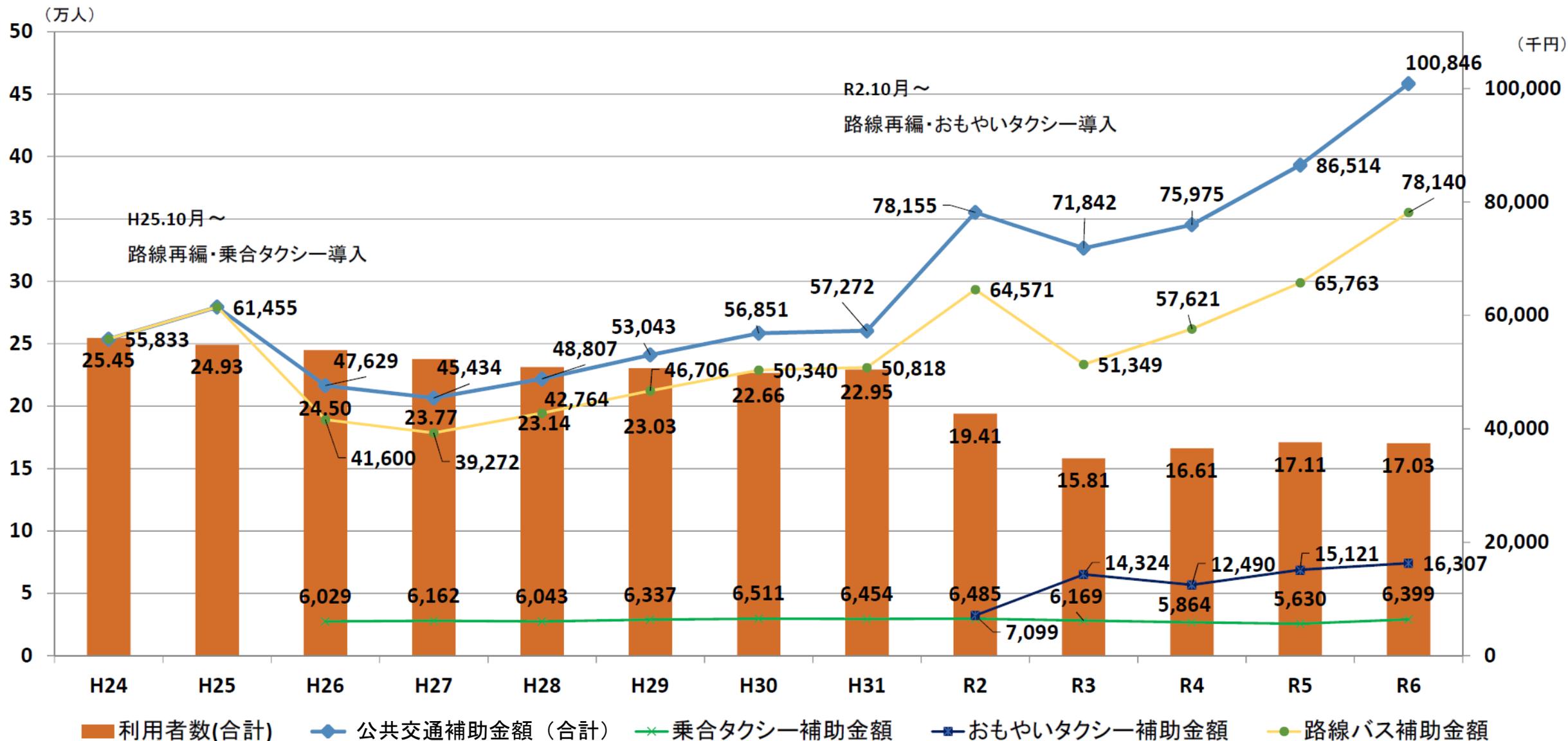
おもやいたクシー

おもやいたクシー

受付予約番号 090-3547-2039

QRコード

公共交通利用者数・補助金額



02

モビリティ・マネジメントの 取り組み内容



市内全域を運行する、おもやいタクシー

モビリティ・マネジメントとは？

一人ひとりの行動が、個人的にも社会的にも望ましい方向
すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自動車等を
適切に利用する方向へ **自発的に変化するコミュニケーション**
施策と、その **自発的変化をサポートする運用施策**とを
合わせた **ソフト的な交通政策**

荒尾市におけるモビリティ・マネジメントの位置付け

ステージ1 (H30～R4)

荒尾市地域公共交通網形成計画 (H30.3月策定)

健康

施策：高校生や高齢者等の公共交通利用への転換

事業：健康づくり活動や交通安全講習会等に合わせたモビリティマネジメントの実施

- 高齢者を中心とした自家用車から公共交通への転換を促進
- 外出機会の増大による健康寿命の延伸、公共交通利用者拡大による運行収支改善

ステージ2 (R5～R9)

荒尾市地域公共交通計画 (R5.3月策定)

健康・商業等

施策：公共交通で出かけたくなる、「移動目的と移動手段の連動」

事業：健康づくり施策と連携した、行動変容を促す利用促進の実施

商業・観光施設と連携した、行動変容を促す利用促進の実施

- これまでの取り組みを継続しながら、連携範囲を拡大
- 公共交通を必要とする方のほか、自家用車のみには依存しないライフスタイルを提案

健康づくりと連携したモビリティ・マネジメント（H30～）

対象 地域活動に参加する**アクティブシニア**



体カアップ体操教室

荒尾市住民

公共交通の**利用頻度の増加**を目指す

公共交通利用者

公共交通非利用者

↑
転換を目指す

現在、公共交通を利用していないが、近い将来使う可能性が高い高齢者を対象。
（外出意欲が高い『**アクティブシニア**』）
自動車だけでなく、公共交通も上手に使いながら活動を続けていただきたい。

利用可能性の**高い**
非利用者

利用可能性の**低い**
非利用者

健康づくりと連携したモビリティ・マネジメント（H30～）

実施会場

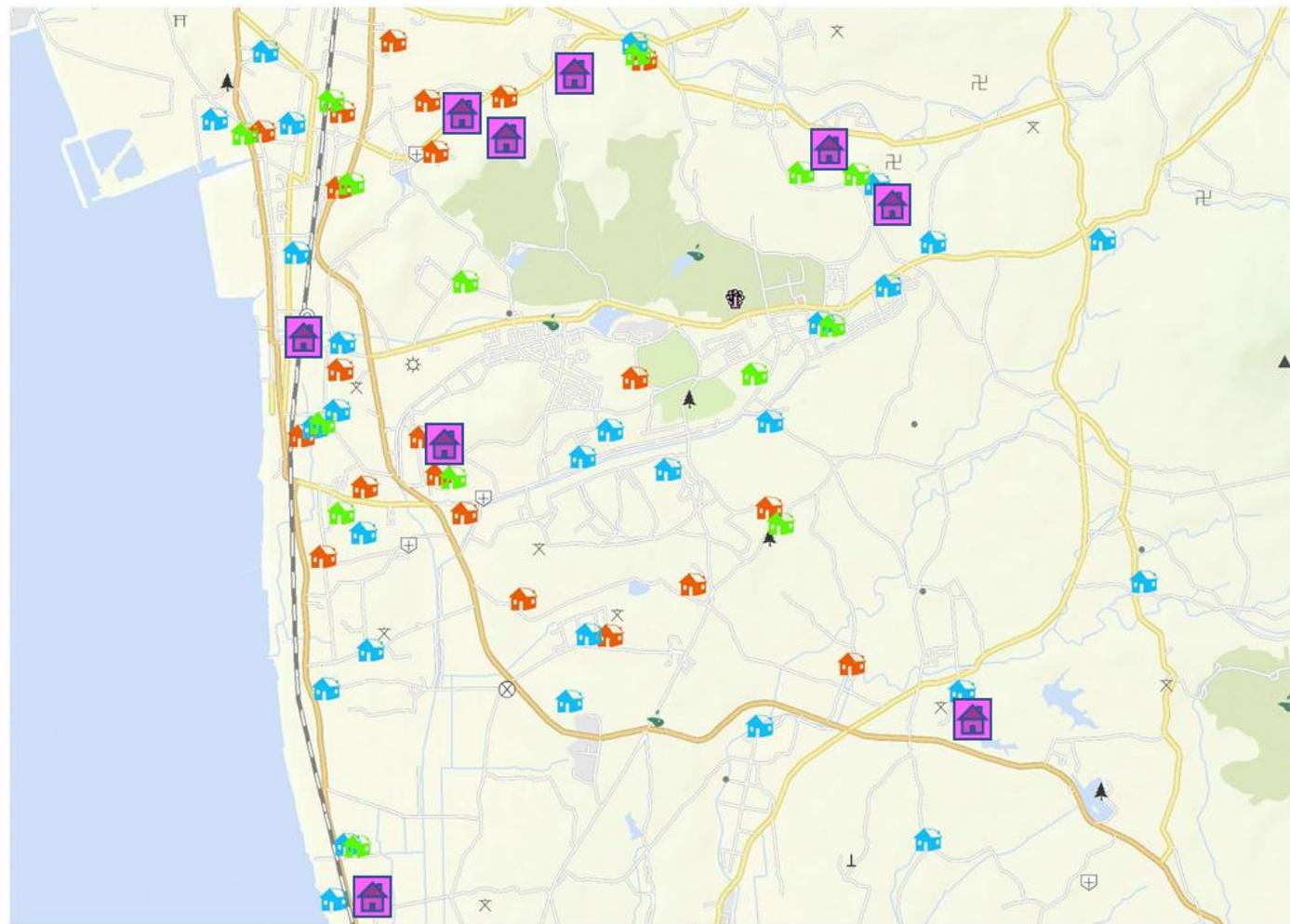
福祉関連イベントの会場（体操教室、いきいきサロン）

《主な選定基準》

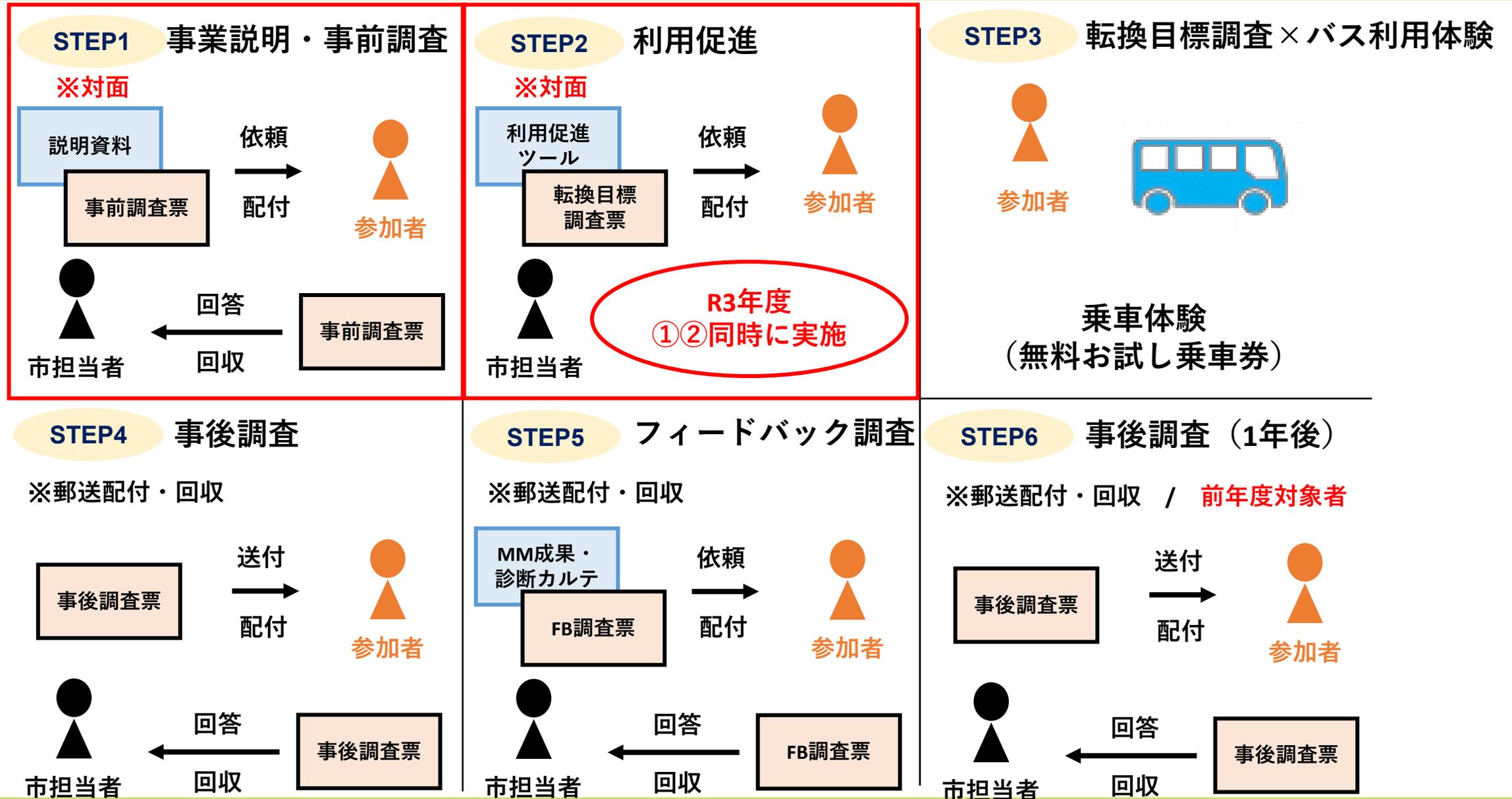
- バス路線が1時間に1本程度存在
- 会場から500m圏内にバス停が存在

《会場数》

- H30 : 28ヶ所（水色）
- R1 : 21ヶ所（橙色）
- R2 : 14ヶ所（黄緑色）
- R3 : 9ヶ所（桃色）



全体の流れ

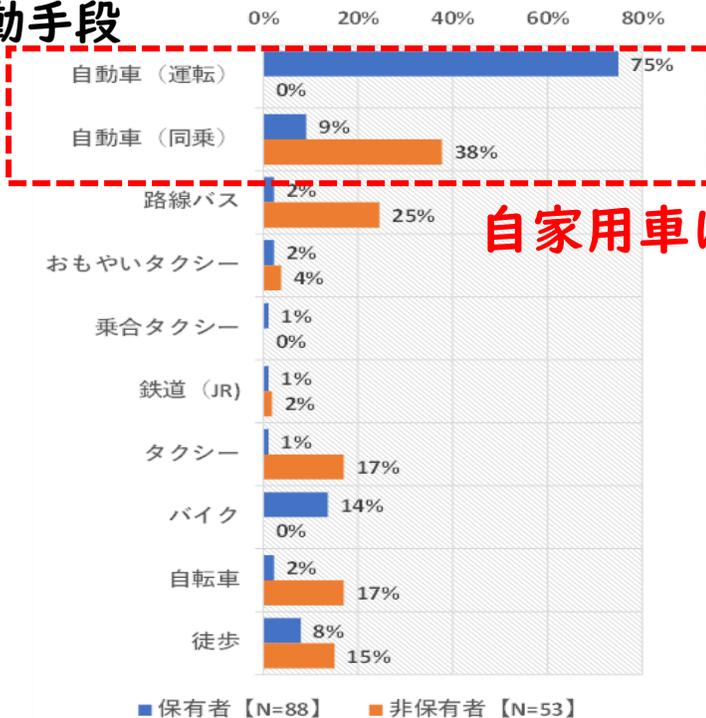


Step.1 事業説明・事前調査

- 会場に訪問し、事業の趣旨や協力依頼を実施
- 参加者の個人情報（氏名、年齢、居住地等）や運転免許証の保有状況・返納意向、公共交通に対する要望、現在と将来想定する移動手段現在の行動パターンを調査
- 参加者と信頼関係のある**福祉関係者に協力してもらうことで、継続的な協力関係を構築**

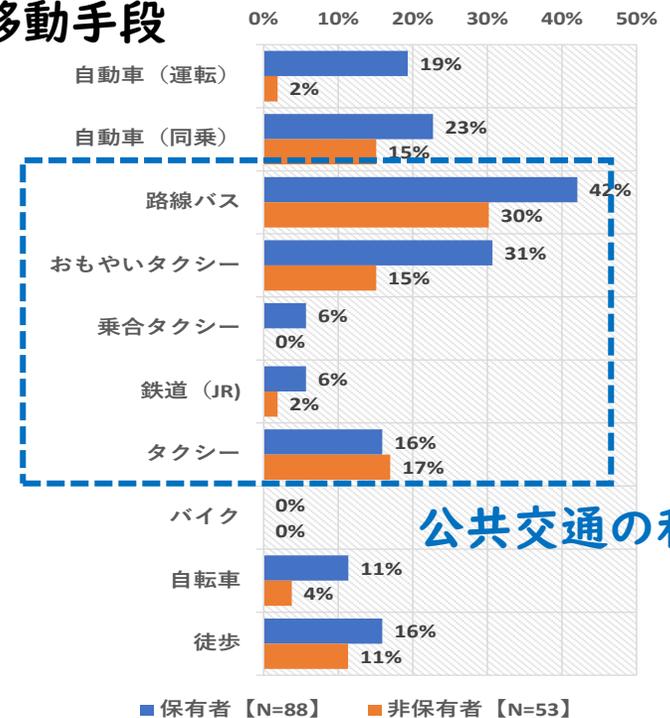


現在の移動手段



自家用車に依存

将来想定する移動手段



公共交通の利用を想定

R3調査結果

Step.2 利用促進

- 利用促進ツールセットを配付（お試し乗車券など）
- 作成したものだけでなく、既存資料（時刻表や公共交通マップ、JCOMM作成資料）も有効活用
- 便数やバス停の増加は困難なため、**意外と**既存の公共交通で移動できることの理解を促進

バスと電車とタクシーを「じょうずに」つなぐ
ゆとりをもった
あんな移動

荒尾市のモビリティマネジメント

クルマは確かに便利で快適です。しかし、みんながクルマを使っている間にバスの利用者は減り続けており、荒尾市のバスへの補助金額も増えています。このままではバスの便数が減ったり、一部の路線が廃止になったり近い将来公共交通が利用しにくい状況に陥ってしまいます。

一方、今後高齢の方が増え、自動車運転免許の自主返納の意向も多いため、移動に困る方は確実に増えていきます。

『荒尾市モビリティマネジメント』とは、みなさんが「クルマだけ」から「公共交通（バス・電車・タクシー）」も使えるようになり、今後も活き活きとした生活を送る事ができるように公共交通に慣れ親しんでいただく取り組みです。公共交通やクルマの「じょうずな」使い方を一緒に考えてみませんか？

産交バス 通過予定時刻表

バスセンター	バスセンター	バスセンター	バスセンター	バスセンター	バスセンター
08:00	08:10	08:20	08:30	08:40	08:50
09:00	09:10	09:20	09:30	09:40	09:50
10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50
11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50
12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50
13:00	13:10	13:20	13:30	13:40	13:50
14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50
16:00	16:10	16:20	16:30	16:40	16:50
17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50
18:00	18:10	18:20	18:30	18:40	18:50
19:00	19:10	19:20	19:30	19:40	19:50
20:00	20:10	20:20	20:30	20:40	20:50

路線バスの使い方

バスを持つ
バスに乗る
バスを降りる

開公民館 さんの公共交通での行動プラン提案書 【最も多い外出行動】 No.208

あなたが回答された 1番目に頻度の多い外出行動は、下記の通りでした。

買い物	目的地	移動手段	家を出る時刻	帰宅する時刻	外出の頻度	西行者
	あらしティモール	自動車(同乗)	10:00	12:00	週に3~4日	

あなたが公共交通を利用した場合の行動プランを作成しましたので、ご活用してみてください。

項目	現在の行動	行動プラン	備考
CO2	8.6 kg	3.8 kg	12月当月での削減
カロリー	183 kcal	307 kcal	12月当月での削減
所要時間	6分	13分	13分の所要時間
費用		200円	13分の所要時間

※行動プランは平日ダイヤです。休日ダイヤはバス停の時刻表をご確認ください。また、相乗りタクシーの運賃は日空の運賃になりますので、実際の運賃と異なる場合がございます。

徒歩
開公民館 0000000000 開 9:35 1分 9:40 8分 9:48

行き
産交バス 200円
あらしティモール

戻り
あらしティモール 11:27 7分 11:34 1分 11:35

荒尾市 公共交通 マップ

新型コロナウイルスにうつらない、うつさないために、今、できること。

バス・電車・タクシーは、この3つ

をみんなが守れば、感染リスクはほとんどありません！

- 1 常にしっかり換気！
これで「広義の」[空気感染]リスクはほぼゼロ！
- 2 「目・鼻・口」は何か何でも触らない！
これで「接触感染」リスクはほぼゼロ！
- 3 お静かに…話すなら「マスク」！
これで「飛沫感染」させるリスクはほぼゼロ！

※身体が密着する際の「肩同肩」は「肩」に「マスク」の効果が薄くなりやすいためご注意ください。
もちろん、「顔エチケット」も大切です。*マスクは手でおさす。上唇の内側や頬(そで)で拭き取りましょう。

JCOMM 発行：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

(参考) 利用促進ツール 行動プラン提案表ver.1

さんの公共交通での行動プラン提案票

【最も多い外出行動】

No 246

あなたが回答された 1番目 に頻度の多い外出行動は、下記の通りでした。

目的	目的施設名	移動手段	家を出る時刻	帰宅する時刻	外出の頻度	同行者
娯楽・イベント参加	荒尾市立図書館、体操教室	自動車(自身が運転)	9:30	11:30	週に3~4日	同行者無し

あなたが公共交通を利用した場合の行動プランを作成しましたので、ご活用してみてください。

	現在の行動	行動プラン	備考
CO2	12.1 kg	4.2 kg	1か月当たりで計算
カロリー	228 kcal	878 kcal	1か月当たりで計算
所要時間	5分	19分	行きの所要時間
費用		300円	行きの運賃



CO2 : スギ1本(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素量 **14 kg**

カロリー : ご飯1膳普通盛り(140g) **235 kcal**

バス運賃 : 福祉特別乗車証ご利用で1乗車 **100円**

※行動プランは平日ダイヤです。休日ダイヤはバス停の時刻表をご確認下さい。



(参考) 利用促進ツール 行動プラン提案表ver.2

..... 公共交通を利用した行動プランを作成してみましょう。

さんの **行動プラン**

行き

徒歩

系統番号→

路線名→

徒歩

自宅

バス停名→

時刻→

目的地

帰り

徒歩

系統番号→

路線名→

徒歩

目的地

バス停名→

時刻→

自宅

Step.3 転換目標調査×バス利用調査

- 回答者の約7割が移動手段を公共交通へ転換することが可能と前向きに回答
- お試し無料乗車券を活用した買い物ツアーを主催者側で企画したこともあり約2か月の間に275枚（H30）、148枚（R1）、103枚（R2）の利用を確認（R3はコロナ禍により43枚）
- 往復利用だけでなく、片道のみ利用もされるなど、**移動手段の組み合わせ**も見られた

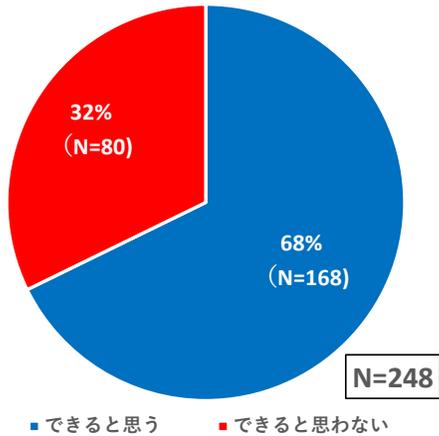
荒尾市内産交バス お試し乗車券 No.

乗車バス停 → 降車バス停

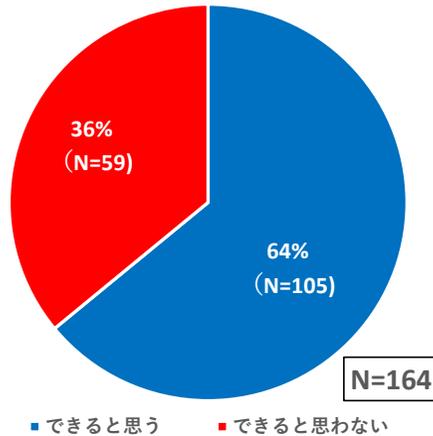
※乗車前に乗降されるバス停名をご記入ください
 ※産交バスの荒尾市内でのご利用に限り、無料となります
 ※バスを降りる際に整理券とともに運転手にお渡しください

有効期限 2020年11月6日～2020年12月31日

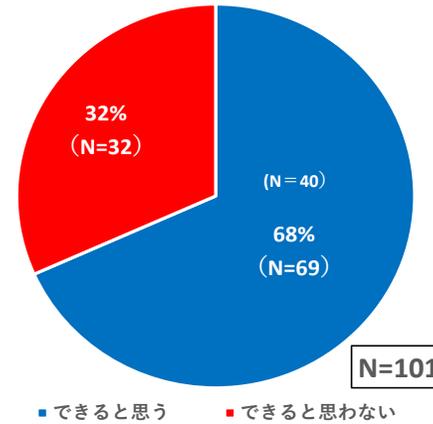
発行元：荒尾市 総務部 総合政策課 ☎ 0968-63-1273



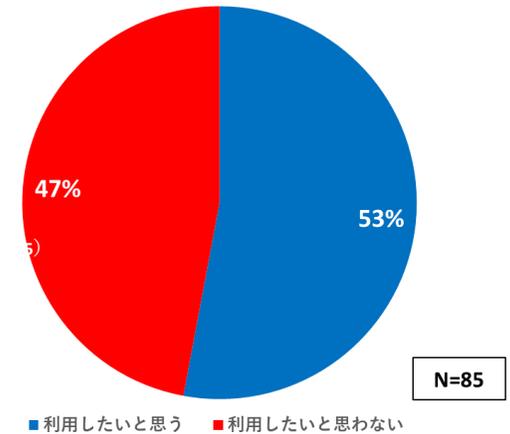
公共交通の利用意向 (H30)



公共交通の利用意向 (R1)



公共交通の利用意向 (R2)

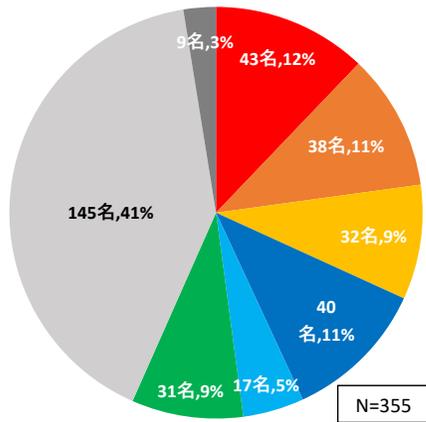


公共交通の利用意向 (R3)

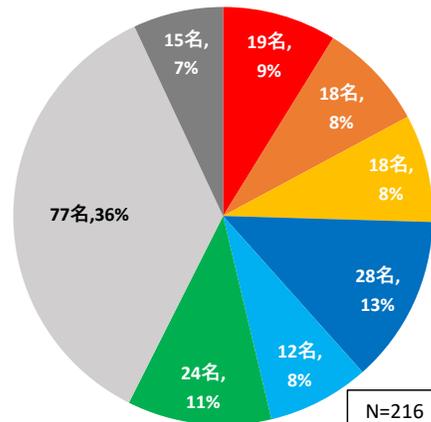
Step.4 事後調査

- これまで公共交通を利用していなかった38名 (H30)、18名 (R1)、9名 (R2)、13名 (R3) が**新たに利用**
- 利用促進後、公共交通を利用しなかったが、今後利用したいと回答した方が1割程度存在

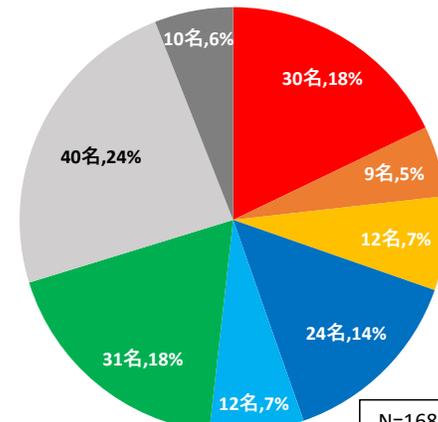
- 以前から公共交通を利用している
- 利用促進後、公共交通を利用した
- 利用促進後、公共交通を利用していないが、今後利用したい
- 利用促進後、公共交通を利用していない。今後も利用したいと思わない。
- 利用促進後、公共交通を利用していない。(今後の利用は無回答)
- 無回答 (事後調査票返信あり)
- 事後調査票返信無し
- 非対象者 (事後調査票送付不可)



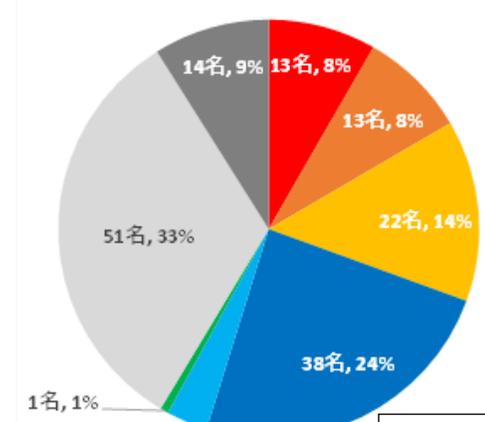
荒尾市MMの結果 (H30)



荒尾市MMの結果 (R1)



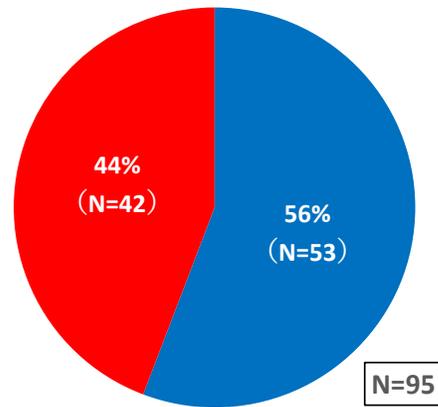
荒尾市MMの結果 (R2)



荒尾市MMの結果 (R3)

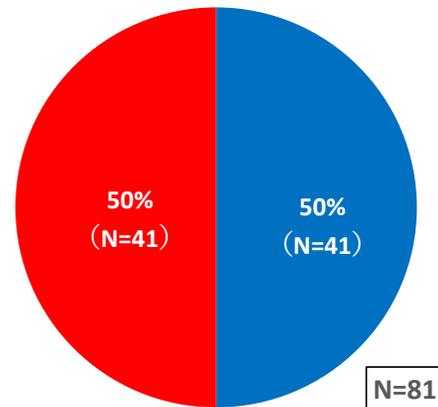
Step.5 フィードバック調査

- 参加者ごとに提案した行動プラン通りに移動手段を転換した場合の、CO₂削減量やカロリー消費量の変化を説明する資料を個別に作成
- 今後の公共交通利用意向を調査した結果、「今後さらに公共交通利用を増やしてよい」と回答した方が53名（H30）、41名（R1）、43名（R2）、19名（R3）の方が公共交通利用に対して 好意的な回答
- 公共交通利用の目標値としては、5割未満が多い傾向



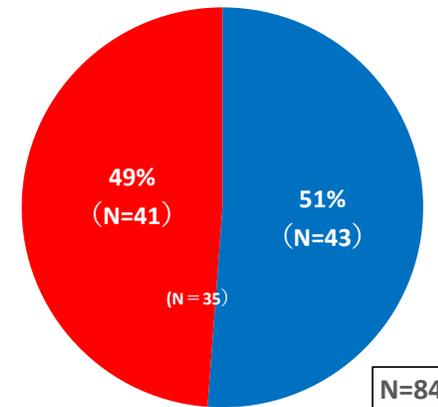
■ 増やしても良い ■ 増やすのは難しい

公共交通の今後の利用意向
(H30)



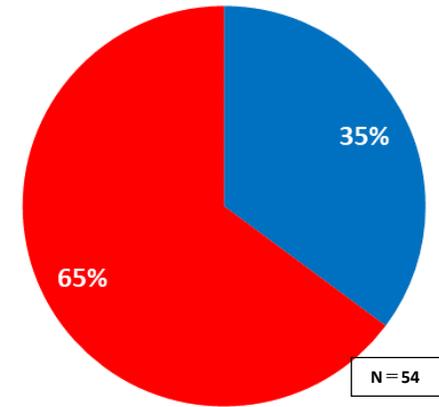
■ 増やしても良い ■ 増やすのは難しい

公共交通の今後の利用意向
(R1)



■ 増やしても良い ■ 増やすのは難しい

公共交通の今後の利用意向
(R2)



■ 増やしても良い ■ 増やすのは難しい

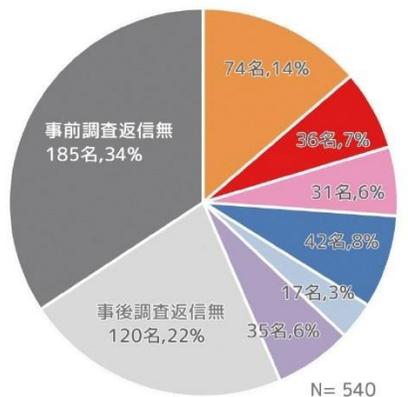
公共交通の今後の利用意向
(R3)

(参考) フィードバック報告書 (一部抜粋)



体操教室参加者による事後調査までの協力と結果

皆様のご協力のおかげで、他の市町村と比較しても大変高い回答率や公共交通への転換の結果が得られました。

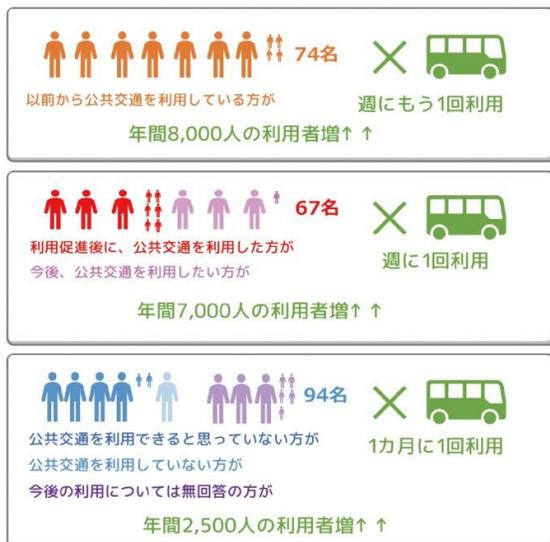


荒尾市モビリティマネジメントの結果



今後、皆さんがバスを利用されると

今後、皆さんが今よりもう少しだけバスを利用されるだけで、年間1.75万人も利用者が増えます。(現在の利用者数23万人の8%)



産交バスの利用者と市の補助金について

バスの利用者は年々減り続けており(年間23万人)、荒尾市のバス事業への補助金額は年間5,300万円程度となっています。市民一人当たり換算すると1,000円程度となります。一人一人が年に数回バスに乗ることで、公共交通を支えていく事ができます。



あなたの公共交通診断カルテ (カロリー消費やCO2排出量の変化)

昨年10月の事前調査と今年1月の事後調査のあなたの回答をもとに、取組み参加前後のカロリー消費やCO2排出量の変化を算出しています。

※今回は参考にお送りするものであり、回答していただくものではありません ※

体カアップ体操教室開催会場 (海下公民館) さん

1か月当たりの移動時間	①普段の外出行動	②利用促進	③利用実績		④今後の利用目標	
	10月のあなたの答えを元に計算	11月~12月に実施	1月のあなたの答えは、「今の車利用の0割くらい利用した」		1月のあなたの答えは、「今の車利用の0割くらい利用する」でしたが、もし「5割くらい利用すると」	
291分	291分	0分	291分	0分	145分	-145分
CO2 19.1 kg	19.1 kg	0.0 kg	19.1 kg	0.0 kg	13.4 kg	-5.7 kg
カロリー 361 kcal	361 kcal	+0 kcal	361 kcal	+0 kcal	613 kcal	+252 kcal
主な移動手段	自動車(自身が運転)	▶▶	▶▶	▶▶	▶▶	▶▶
	自動車(自身が運転)					

カロリーの参考値



カロリー：
ご飯1膳普通盛り
235 kcal



カロリー：
ウォーキング
1時間の消費量
240 kcal

CO2の参考値



自家用車1台から排出される二酸化炭素は
年間約 **2,300 kg**



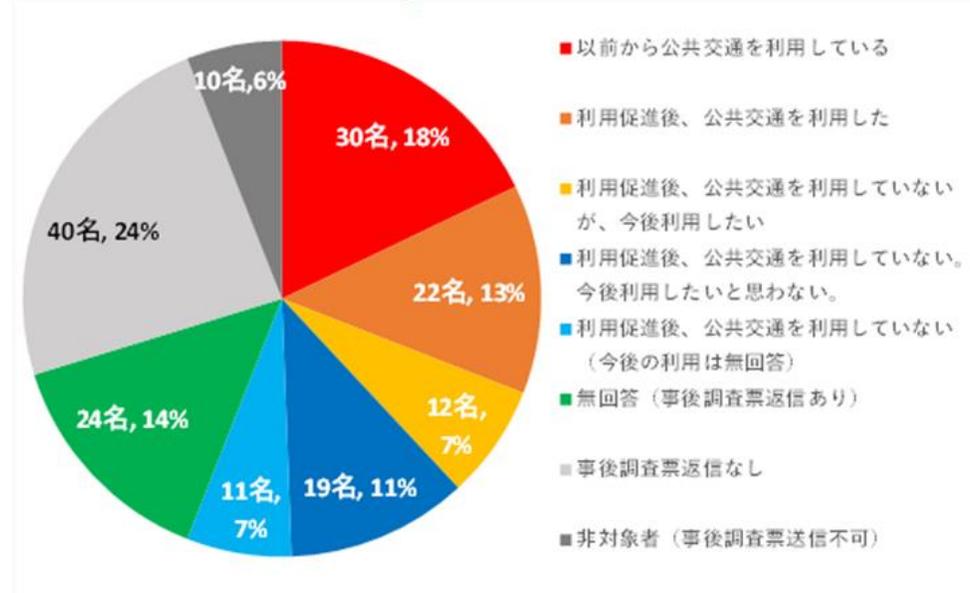
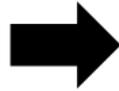
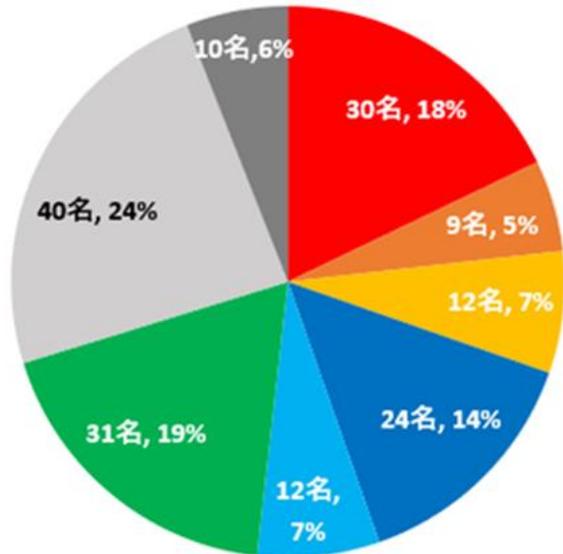
樹齢80年のスギ人口林
160本

スギ1本(樹齢80年)が1年間に
吸収する二酸化炭素量 = **14 kg**

Step.6 事後調査

- 本調査は、MM事業実施から約1年後に前年度の参加者を対象に公共交通の利用状況を調査
- MM事業実施から約1年が経過したにもかかわらず、**新たに公共交通を利用するようになった方が13名増加**

令和2年度対象者における長期的効果



新たに13名の方が利用され、
合計22名13%の方が新規利用。

取り組みの特徴・成果

顔が見える関係
(関係構築)

×

一人ひとりに
合ったプラン
(ひと手間)

×

継続的な
体制確保
(財源等)

=

着実な
利用転換



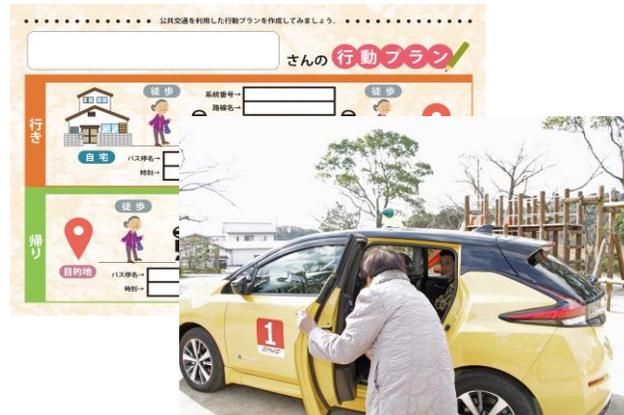
福祉関係者への協力打診



事業やツールの丁寧な説明



市担当者による事業説明



モビリティマネジメントを
明確に位置付け、MMによる
利用者確保が必要という認識を
庁内で共有

個別の行動プラン&市内全域
運行のデマンドタクシーにより
行動プランの提案範囲拡大

全参加者の
約1割が
新たに
公共交通を利用

これまでの取り組みを通じた課題

○新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者等の行動変容

- ・体操教室等の活動機会が大幅に減少
- ・市民アンケートの結果、今後の外出機会を減らすとの回答割合が約2割

○MaaS (Mobility as a Service) の取り組みの広がり

- ・狭義のMaaS、広義のMaaS (移動と活動の連携による付加価値創出)

第2ステージとして、荒尾市地域公共交通計画に基づき、健康づくりや商業など、様々な移動目的先と連携したモビリティ・マネジメントを推進

地域包括支援センターと連携した健康づくりMM（R5～）

対象

からだ元気教室参加者（R5:10名、R6:31名）

- ・要支援1、要支援2など**介護保険サービス利用者**
- ・体力に自信がなくなった人に向けて、**自分でできることを増やす**ための3か月間の介護予防プログラム

⇒公共交通を一層必要とする高齢者をターゲット



からだ元気教室

<1日の流れ>

時間	9:30～9:45	9:45～10:00	10:00～12:00	12:00
主な内容	会場到着	健康状態のチェック	専門スタッフによるトレーニングプログラム	終了

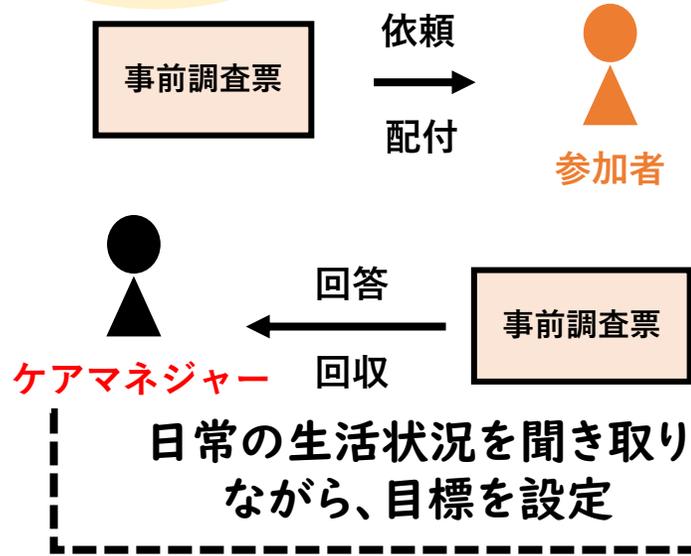


月1回、管理栄養士（栄養のプロ）や歯科衛生士（お口のプロ）が関わります。

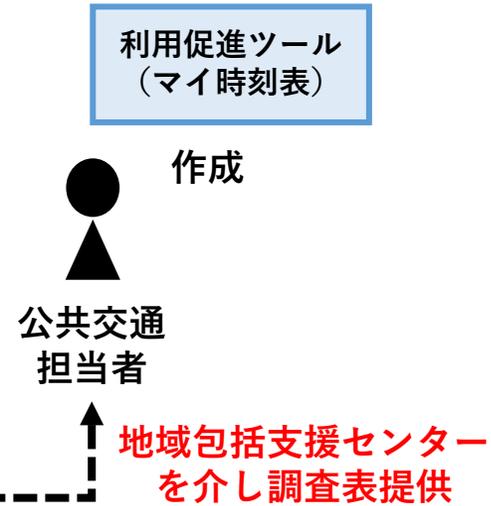
送迎利用の方は会場出発

全体の流れ

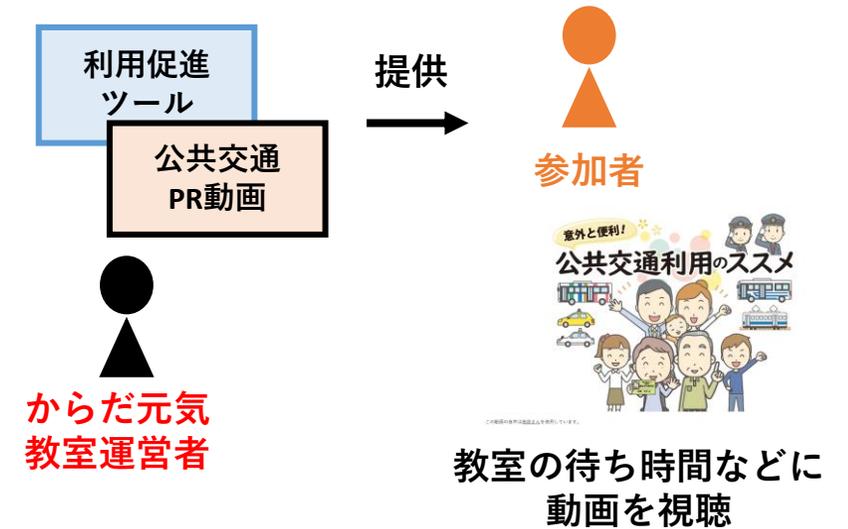
STEP1 事業説明・事前調査



STEP2 ツール準備



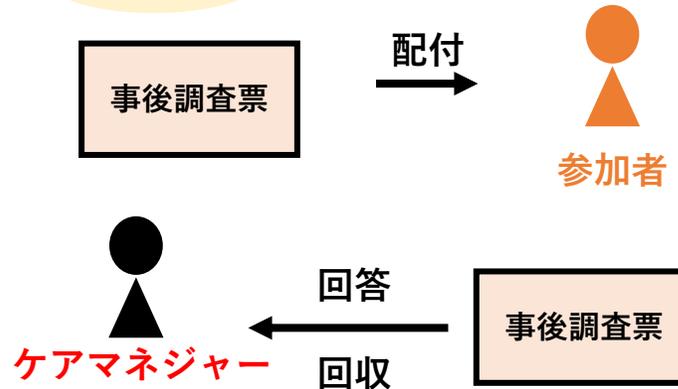
STEP3 利用促進



STEP4 バス利用体験



STEP5 事後調査



以後の状況については、公共交通担当者、地域包括支援センター職員、からだ元気教室運営者で共有

福祉部門との更なる連携

○あらおできるしこ座談会(地域包括支援センター、社会福祉協議会主催)

移動、移送などの地域課題について、行政
や地域の各個人、団体等が連携・協力し
(**できることを持ち寄って**) 解決に取り組む
ための座談会

⇒公共交通のPR動画活用なども検討

(これまでの参加団体)

社会福祉法人、ゆめタウンシティモール、歯科医師会、荒尾支援学校、セブン-イレブン・ジャパン、医療機関、
ユナイテッドトヨタ熊本、Honda Cars熊本東、移送・買い物支援ボランティア、荒尾タクシー、産交バス など



各団体の枠を超えて市民の移動をどう支えるか連携が広がっている

商業施設と連携したモビリティ・マネジメント

- ・商業施設・図書館リニューアルに伴うバス利用者への買物クーポン配付(R4)
- ・熊本県下一斉バス無料の日と連携した市独自の運賃無料化(R4)

9.15 [THU] Start a new life!

ゆめタウンシティモール GRAND OPEN

あらおライフはもっと新しく、もっと楽しく。

you me ゆめタウン シティモール

2F 荒尾市立図書館 未来へつづく新たな拠点

人とつながる・本と出会う 文化をつたえる 未来につづく

産交バス ゆめタウンシティーモール企業

ゆめタウンシティーモールで使えるお得なクーポンをGetしよう!

クーポン引換実績620件

産交バス 荒尾市内の産交バス路線が無料!

お得な無料バスを体験してみよう!

子ども無料の日 第1弾 9月15日(木)~19日(祝) 大人100円 小学生以下はバス乗車無料です。

高齢者無料の日 第2弾 9月20日(火)~25日(日) 荒尾市内の65歳以上高齢者はバス乗車無料です。

【同時開催】潮湯(荒尾市)の無料開放実施!

バス利用者の前年度同期間比 +716名

バスで行こう! 新しくなった ゆめタウンシティーモール

you me 9月15日 [木曜日] GRAND OPEN

産交バスに乗ってお得なクーポンをGETしよう!

1 バス車内にて乗車証明書を設置しております。

2 乗車証明書をゆめタウンシティーモールのサービスカウンターへ持って行ってください。

3 ゆめタウンシティーモールで使えるお得なクーポンを呈呈。

コロナウイルス感染防止呼びかけ

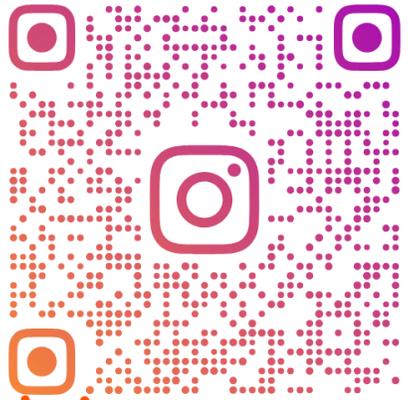
当日は混雑する場合がありますので、ご乗車にならない場合がございます。時間にゆとりをもち、ご乗車くださいませうようお願い申し上げます。

荒尾市

商業施設・産交バス・図書館と連携したバス体験乗車会(R5~)

対象 普段は自家用車を用いる親子連れ

- ・乗車体験会と合わせて図書館で催事を同時実施
- ・事後調査はLINEで行い、後日、LINEを通じて図書館のイベント情報等を配信
- ・当日の様子は市公式Instagramで配信



産交バス乗車体験会 × 図書館イベント

産交バスグッズ販売もあります!

市民の皆さんに路線バスを身近に感じてもらうために、ゆめタウンシティモールで産交バスの乗車体験会を開催します。当日は、普段入ることのできない運転席に座っての記念撮影会も実施します。小さなお子さんがいるご家庭など、この機会にぜひご参加ください。

11月10日 日 13時~16時

受付場所 市立図書館みんなのへや

※時間帯別に事前予約を行いますので、右の二次元コードからお申込みください。当日受付も18組行います。(先着順)

▲事前予約は18組限定!!

予約

約30分のプログラムです
(乗車体験15分、運転席での撮影会15分)

参加してくれた子どもたち全員に素敵なプレゼントもあるよ!

03

今後の展望



開発が進む「あらお海陽スマートタウン」

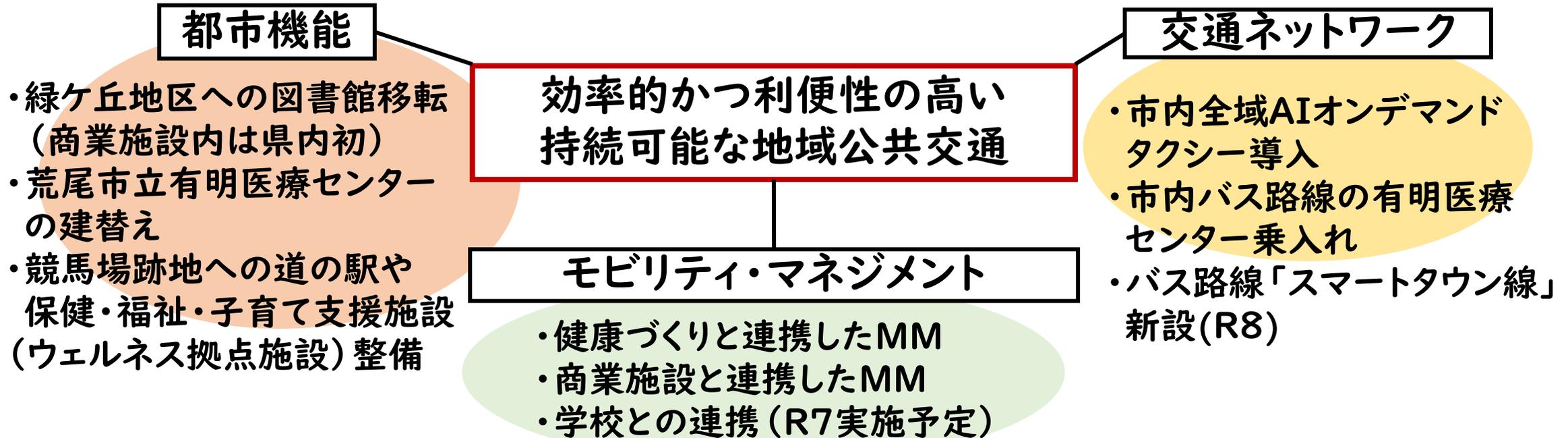
コンパクト・プラス・ネットワークの更なる推進

○2つの中心拠点のうち、荒尾駅周辺地区の都市機能強化

○さらには、拠点同士を結ぶバス路線網の再構築

○路線バス・デマンドタクシーの利点を生かしたベストミックス

⇒ 都市機能・路線網が構築できて、はじめてMMが効果を発揮する
MMを通じてはじめて公共交通を必要とする人にサービスが届く



脱炭素まちづくりと連携したモビリティ・マネジメント

脱炭素先行地域計画提案概要（抜粋）

荒尾市：エネルギーからにぎわいを生み出す 快適未来都市あらお ～石炭のまちから新エネルギーのまちへ～

脱炭素先行地域の対象：あらお海陽スマートタウン、グリーンランドリゾート、ゆめタウンシティモール、再エネ電気供給施設

主なエネルギー需要家：民間施設(26施設)、公共施設(1施設)

共同提案者：有明エナジー(株)、(株)肥後銀行、(株)有明グリーンエネルギー



あらお海陽スマートタウン

取組の全体像

基幹産業である石炭産業の停滞等を背景に変革期を迎える中心市街地において、競馬場跡地の再開発により新たな賑わい創出を目指す「あらお海陽スマートタウン」では、「**地域再生エリアマネジメント負担金制度**」(内閣府)を活用し、**脱炭素×まちづくりの新たなスキーム**を構築。地域エネルギー会社の収益も活用し活動費を拡大する等し、**エリアの魅力向上**につながる取組を**官民連携**で推進。また地域エネルギー会社が、**県・地域金融機関等と連携**しながら**事業拡大**していく中で**地域貢献の担い手として取組を進める姿をマニュアル化**し示すとともに、**県域における地域エネルギー会社の在り方**についても検討することを目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 地域エネルギー会社「有明エナジー」が**肥後銀行と連携したPPA事業**を展開し各施設に太陽光発電設備(約4,750kW)・蓄電池(約3,450kWh)を導入。PPA導入と併せて**CO2排出量算定サービスの無償提供・脱炭素経営コンサル**を実施
- ② コミュニティバッテリーを3基(約24,000kWh)を導入し、**エリア一体でのエネルギーマネジメント**及び域外に流出している既存再エネを最大限地産地消に活用
- ③ 「**地域再生エリアマネジメント負担金制度**」を活用し、あらお海陽スマートタウンにおいて**エリアの魅力向上に資する取組**(電動モビリティ事業や既存照明を補完する再エネ一体型照明等の導入等)を実施
- ④ 遊園地(グリーンランド)にバイオディーゼル発電機(約500kW)を導入し遊園地特有の電力需要のピークカットを実施するとともに県と連携した廃食油の回収を行う
- ⑤ 遊園地で活用する花卉類で営農型太陽光(約20kW)を導入
- ⑥ **県・肥後銀行等と連携**し、有明エナジーが**事業拡大し成長していく姿のマニュアル化**や**県域における地域エネルギー会社の在り方**の検討を実施

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 有明エナジーによる地元工業高等専門学校を対象にした**電力に関する講座・採用活動**を継続的に実施
- ② 各需要家のエネルギーコスト削減分を原資にしたバスの乗り方教室・お試し乗車券の配布、おもやいタクシー(EV)と遊園地入園料のセット割引を行い行動変容と公共交通利用の促進の同時実現

3. 取組により期待される主な効果

- ① **脱炭素×まちづくりの取組**を制度として推進するとともに街の魅力向上に資する事業を展開。**中心市街地の賑わい創出、地域活性化**に貢献
- ② 有明エナジーが**専門人材の育成・地元雇用の創出**に貢献するとともに、得られた収益の還元だけでなく、**エネルギー事業を通じた地域課題解決に資する取組を展開**
- ③ **地域エネルギー会社が成長する姿**を検討過程・課題感等含めて**マニュアル化**するとともに**県域における地域エネルギー会社の在り方**を検討する等、地域エネルギー会社に関する**知見・ノウハウを展開**
- ④ 公共交通利用促進の取組により自家用車に頼らない移動を促進し、公共交通の維持と環境負荷軽減を促進



Thank you!

ご清聴いただき、誠にありがとうございました